Annual Report 2021

事業報告 2021

公益財団法人
PHD協会

2021.4 - 2022.3

Annual Report 2021

理事長挨拶

理事長　水野 雄二

いつもPHD協会をご支援くださり感謝申し上げます。2021年度も新型コロナウイルスのパンデミックの中、PHD協会は海外からの研修生を迎えることができない一年を過ごしました。しかし、11月に創立40年を迎えて開催された記念式典は、各国で活躍する元研修生など約300名がオンラインで参加し、コロナ禍であればこその催しとなりました。また、シェアハウス「みんなのいえ」も困難に直面する在住外国人を支援する貴重な場となり、国内事業は充実した一年でした。

2022年度は幸いにもネパール、インドネシアからの研修生招聘が再開します。クーデターによるミャンマー情勢は依然として過酷で、ウクライナの戦禍も憂慮されますが、両国の日本での避難者のケアにも努めつつ、私たちにできる「平和への働き」を強めていきます。

今までのご支援に感謝すると共に、これからの歩みにも更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

事務局報告

事務局長　坂西 卓郎

2021年度は当会にとって40周年を迎える節目の年となりましたが、コロナ禍による水際対策の影響で、2年続けて研修生不在の年でもありました。そんな中、ミャンマーの少数民族カレンのお二人が国内研修生として一年間学んでくれました。日本人研修生は過去最多となる5名の受け入れを行うことができました。

他方、世界に目を向けると、ミャンマー、アフガニスタン、ウクライナと続けて平和が脅かされる状況となりました。PHD協会でも草の根の連帯でできることをしようと、ミャンマーには皆様のお力をお借りして基金を約144万円届けることができました。そして、アフガニスタン、ウクライナからの避難民の受け入れ、居住支援活動を現在も引き続き実施しています。大きな力に対抗するにはささやかな活動ですが、それでも少なくない笑顔を生み出すことができました。これもお支えいただいている皆様のおかげです。

組織面では、国交省管轄の居住支援法人の取得、入管所轄の登録支援機関、厚労省所轄の無料職業紹介業の登録など、今後の居住支援活動の土台整備ができた一年でした。研修生や外国人当事者と連帯し、歩みを続けていきたいと思います。引き続きのご支援よろしくお願いします。

With MYANMAR

With Myanmar 基金「寄り添いの想いをカタチに」

2021 - 2022活動概要

2021年2月1日に勃発した、ミャンマーの国軍によるクーデター。軍による厳しい弾圧が進む中、民主化を目指すミャンマーの元研修生や市民に寄り添うべく、同年3月にミャンマー基金を設立。皆さまの温かいお気持ちとご支援に心より感謝申し上げます。本基金の目的は、「ミャンマーへの寄り添いの想いをカタチに」ということで、2021年度は計144万円を現地のPHDミャンマーへ送金し、ニーズに応じて活用させていただきました。本基金の主な使途は下記の通りです。

【基金の使途（詳細）】

・不服従運動（CDM）を続ける元研修生たち18名への生活費補填
・村、スラムの困窮世帯、CDM参加者への食料、衛生用品の配給

対象は120世帯/約840人　（米、豆類、油、卵、マスク、石鹸、タオルなど）

・困窮者支援や民主化活動に励むPHDミャンマースタッフ（元研修生）の給与
・シュエグニ孤児院の支援費（喜捨として）
・交通費、雑費（活動に係るガソリン代、運転手、活動時の食事）
・備品代（民主化運動のバナー作成、PHD40周年事業に係る現地準備費）
・手数料（海外送金時、現地銀行からの引き落とし時に係る）

配給用の食材を積んだトラック

【PHD 協会としての民主化活動（国内）】

・国軍への抗議デモに在日ミャンマー人らと参加
・ミャンマーサッカー大会への参加
・ミャンマー民主化をテーマに講演
・民主化のための発信や情報共有（SNS や広報物を通じて）

元研修生たち

CDM を続ける元研修生への生活費支援	570,000 円
食料・衛生用品費（村・スラム困窮世帯支援）	302,000 円
現地活動費	185,000 円
シュエグニ孤児院支援	145,000 円
交通費・雑費	60,000 円
備品代	53,000 円
手数料	45,000 円
未使用金	80,000 円
送金合計	1,440,000 円

シュエグニ孤児院支援（喜捨）の様子

研修

2021年度はミャンマー カレン民族の留学生ナンミミさんとロンさんが国内研修生2.0として活動しました。多忙な生活の中に、ＰＨＤ内での研修を組み入れ、それぞれが学びを得ました。1年間の集大成として、アクションプラン（活動計画）作りに取り組みました。自身の地域の良さや課題を考えることは、彼らの今後の活動指針となります。

ナ ン ミ ミ さん

（ミャンマー　カレン民族・26歳）

研修内容：製菓+マネジメント、ソーシャルワーク

ソーシャルワーク研修 / 指導者

PHD 協会

製菓研修 / 指導者

PHD 協会職員：中島麻

国内研修生 1.0：松浦あおい

製菓研修 / 訪問・見学先

クレープ・デ・フレヴァー（新長田）

カフェラルシュ（元町）

ヒステリックジャム（元町）

ワークセンターわかまつ（新長田）

食料配給のための寄贈米を
受け取るナンミミさん（右から２人目）

製菓研修	
研修日	研修内容
2021/7/15	くるみブラウニー
2021/7/22	クレープ（バナナキャラメル）
2021/7/30	シンプル丸形パン
2021/8/2	クレープ（バナナキャラメル・卵系）
2021/8/5	クルミブラウニー（２回目）
2021/8/20	揚げドーナツ・パイ生地・カスタードクリーム
2021/8/26	くるみブラウニー（草の根サロン提供用）
2021/10/6	アップルパイ

ロ ン さん

（ミャンマー　カレン民族・26歳）

研修内容：サッカー指導、動画編集

指導者の増田さんと共に
子どもたちの前で話すロンさん（左）

ビデオ編集研修 / 指導者

アルサラン　ナシフさん

ビデオ編集研修	
研修日	研修内容
2021/8/5	オリエンテーション①（ビデオ編集用アプリ､ソフトウェア紹介）
2021/8/7	オリエンテーション②、カレン語キーボード ダウンロード
2021/8/17	ビデオ撮影講座①（基礎）
2021/8/20	ビデオ撮影講座②（応用、スキル紹介）
2021/8/25	ビデオ編集（バックミュージック、映像、サブタイトル）

サッカー指導研修 / 指導者

ディレクター　増田史弥さん（神戸 YMCA ウェルネスセンター学園都市）

サッカー指導研修	
クラス①幼稚園クラス、クラス②小学校高学年クラス 場所：妙法寺サッカーグラウンド	
研修日	研修内容
2021/5/12	クラス①、クラス② コミュニケーション、声掛け、サッカースキル指導について、準備・片づけ
2021/7/21	クラス①、クラス② コミュニケーション、声掛け、サッカースキル指導について、準備・片づけ
2021/9/1	クラス② サッカースキル指導、ミニゲーム、水分補給の大切さ、準備片づけ
2021/9/29	クラス② サッカースキル指導、ミニゲーム、水分補給の大切さ、準備片づけ
2021/10/20	クラス② サッカースキル指導、ミニゲーム、水分補給の大切さ、準備片づけ
2021/10/27	クラス② サッカースキル指導、ミニゲーム、水分補給の大切さ、準備片づけ

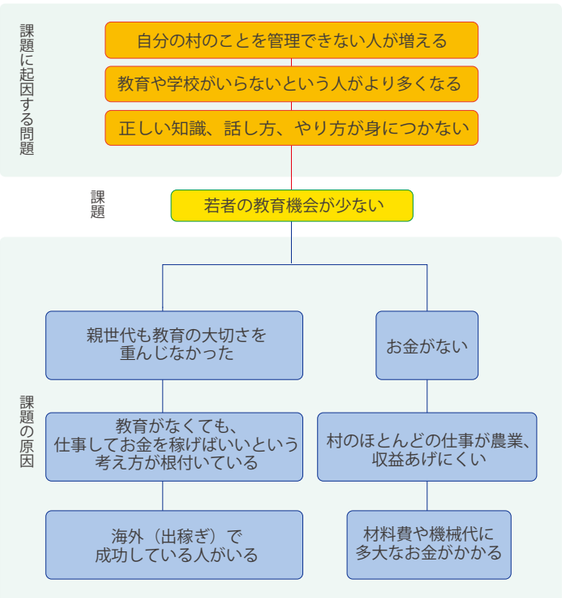
アクションプラン（活動計画）

ナンミミさんのアクションプラン

「次世代の若者たちが頑張れるような村へ」

ナンミミさんの村では、若者たちへの教育機会が限られています。彼女が考える教育とは、学校の勉強や知識だけでなく、正しい話し方や物事のやり方を指します。課題の理由として、村での仕事の選択肢が少なく、都市部や海外で出稼ぎをし、お金を得ることが良い生活という考えが村で浸透している事が挙げられます。教育機会の制限は、村のために頑張る若者を減らし、今後、自立した村づくりをすることが、ますます困難になっていきます。ナンミミさんは「次世代のカレン民族のためにも、この状況を変えたい。」と考えています。まずは、彼女自身が日本で勉学や研修（製菓やソーシャルワーク）、仕事に励み、知見を拡げる。そして、帰国後にその経験や学んだことを村で実践的に活用し、次世代の若者たちに伝えることで、皆が村を大切に想うきっかけになればと意気込んでいます。

出身の村・地域の問題系図

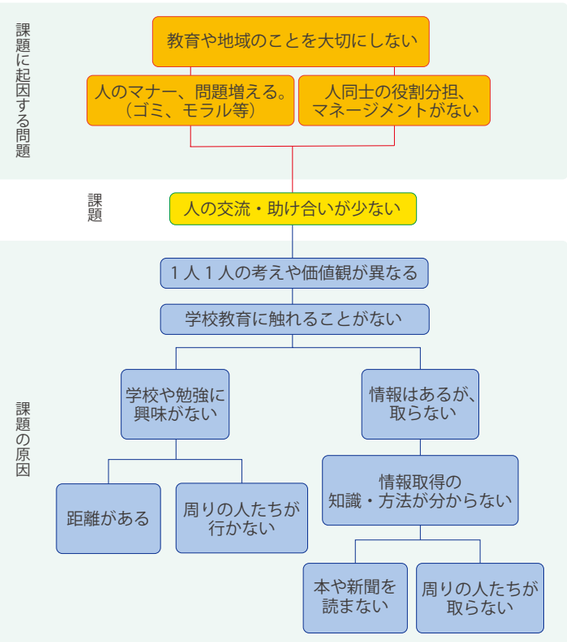


ロ　ンさんのアクションプラン

「スポーツや交流を通じて、助け合いの村づくりを」

ロンさんが考える地域課題は、村人同士の交流や助け合いが少ないことです。彼の出身村は100人規模ですが、一人一人の考え方が違い、連携や役割分担が難しいといいます。問題の背景として、村人たちが学校教育に触れる機会が少なく、これが世代を超えて受け継がれている状況があります。勉強への興味が薄く、自分から情報取得をする人も少ないそうです。「このままでは教育や地域の事を大切にできない人が増えてしまう。」ロンさんはそんな村の未来を危惧し、ミャンマーにいた頃は村の若者たちを集め、スポーツを通じた指導を行ってきました。ＰＨＤでの研修は、主にサッカー指導やビデオ編集について学びました。帰国後は、日本での学びと経験を村人たちに伝え、関係性を深めながら、より良い地域づくりを目指していきます。

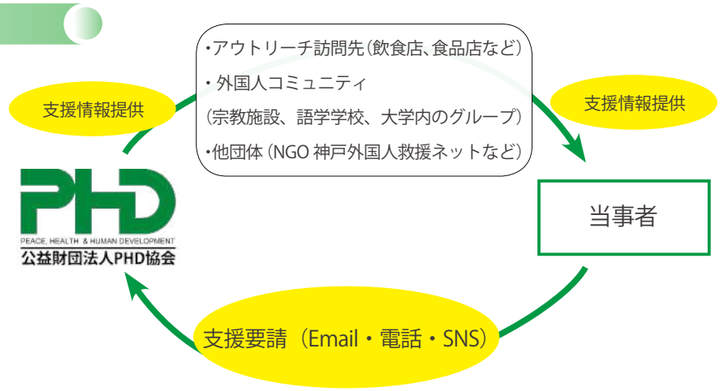
出身の村・地域の問題系図



居住支援

在住外国人生活支援

1.2020 年度・当事者へのフォローアップ
2. アウトリーチ活動の継続
3. 新たな当事者へのヒアリング、相談対応、ニーズに応じた支援
4. 当事者との関係性構築・交流の場づくり（草の根サロン）
5. 居住支援事業マニュアル作成



アウトリーチ活動　訪問先件数 112 件

地域の飲食店、宗教施設、企業、行政機関、外国人支援団体を中心に訪問、メール問合せ

生活支援

外国人当事者へのヒアリング、生活状況や課題の把握、それに対するサポートを実施

主な支援内容として、食料、居住、就労、進学、在留資格、日本語学習、帰国手続き等

ミャンマー人留学生に食料品を配給

相談対応件数	101 件（延べ 441 人）
国籍	アフガニスタン、グアテマラ、ペルー、フィリピン、バングラデシュ、中国、ベトナム、インドネシア、ネパール、ミャンマー
主な相談事例	• コロナ禍の勤務日数削減、給与未払いや雇止め。家賃や食費が支払えず、生活困窮に陥っている。 • 来日の手続きで騙され借金過多。アルバイトで返済に追われ、オーバーワーク。 • 近隣や家庭内でのトラブル。同国出身者からの搾取（悪質なブローカーの関与）。 • 住居契約時に保証人がおらず、契約できない。家賃支払いに関するトラブル。 • 入国管理局でのビザ手続き、在留資格変更や更新が難しい。日本語でのやり取りに苦労。 • 支援や情報が届かず、有事の相談先（個人・団体・行政サービス等）が分からない。

国際協力・交流シェアハウス

みんなのいえ
国際協力・交流シェアハウス

国際協力・交流シェアハウス「みんなのいえ」は、困窮する外国人の方や難民申請者の方のための一時的な居住スペースです。

	滞在期間	出身国
居住者内訳	4 月 1 日～ 2022 年 3 月 26 日	ミャンマー 2 人（女性、男性）
	6 月 3 日～ 6 月 5 日	ベトナム 1 人（男性）
	8 月 1 日～ 2022 年 4 月 1 日	ミャンマー 1 人（男性）
	10 月 27 日～ 11 月 17 日	ベトナム 1 人（男性）
	11 月 10 日～ 2022 年 2 月 27 日	ベトナム人 1 人（男性）
	2022 年 1 月 31 日～ 3 月 1 日	ミャンマー 1 人（男性）
	2022 年 3 月 9 日～ 3 月 29 日	ベトナム 2 人（女性、男性）
合計		9 人

広報・啓発

設立 40 周年記念式典

設立 40 周年を迎え、オンラインにて記念式典を二部構成で開催し、支援者のみなさま、各国の元研修生たち、元職員など、約 300 名の方にご参加いただきました。また、動画メッセージ 36 本を作成、Youtube チャンネル「草の根」にて公開しました。

PHD 2021 40th Anniversary

開催日　11 月 27 日　（設立者・岩村昇博士召天日）

【プログラム】

第一部　式典　Youtube 配信
- オープニングムービー
- ご挨拶
- PHD 運動提唱者・岩村昇ベターハーフ 岩村史子さんからのメッセージ
- 来賓ご挨拶
- PHD 協会 40 年を振り返る
- エンディングムービー

第二部　大同窓会（交流会）　ZOOM 配信
- 元研修生と交流タイム①&②

配信会場の神戸 YMCA　三宮会館　チャペルにて

PHD 協会 Youtube チャンネル「草の根」にて随時視聴可能な動画

40 周年記念誌

40 周年の節目として、記念誌（52 ページ）を発行、3800 件の発送を完了しました。記念誌と寄付チラシは、SOCIALSHIP 非営利活動のための助成プログラムで採択を受け、クリエイティブ助成を活用して作成しました。

40 周年チラシ

40 周年記念誌

目次
- 岩村先生の経験と反省から生まれた PHD 協会
- 特集（ネパール、インドネシア、ミャンマー）
- 国別研修生一覧・年表（1981 年～ 2021 年）・実績
- 先達が残した足跡・次の 10 年

講演・交流会

2021年度は対面とオンラインにて、講義･講演会を行いました。また、ミャンマーの元研修生や留学生のインタビューなど、現地・当事者からの声を届けることができました。

＜講演・交流先＞

岐阜県 / 国際ソロプチミストかかみ野
京都府 / 京都洛東ロータリークラブ
奈良県 / 育英西高等学校
大阪府 / コープ委員会（豊中緑丘）、大阪 YMCA Y!ab、はなやか KANSAI 魅力アップアワード
兵庫県 / 兵庫県立大学、ミャンマーの民主化を支える HYOGO 市民の会、神戸親和大学、神戸市シルバーカレッジ、プラス ONE ネット、甲南女子大学、神戸市立葺合高等学校、尼崎市立西高等学校、但馬憲法カフェ、篠山ロータリークラブ、神戸学院大学、阪神シニアカレッジ、HYOGON 交流会、地域貢献ゼミナール、明石東ロータリークラブ、関西学院大学、兵庫高等学校、明石清水高等学校
山口県 / 岩国南ワイズメンズクラブ
その他 /ESD 車座トーク、新型コロナ相談支援事業支援者セミナー、RID2680 米山記念奨学セミナー、関西 NGO-JICA 協議会、ロータリー米山奨学委員会、HAPIC、シェアで繋がる地域と世界、HYOMIC 第 6 回研修会

＜敬称略＞

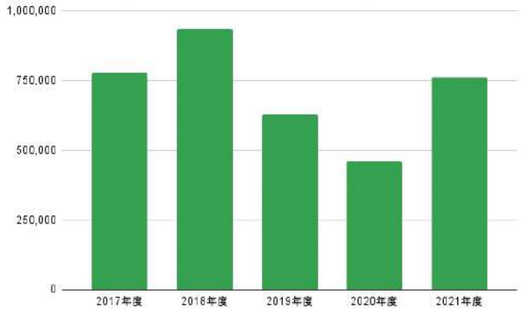
兵庫県立大学にて、ミャンマー留学生のナンミミさんとロンさんとともに講演

講義・講演会等の参加者数(単位:人)	
対面	1,613
オンライン	1,369
合計	2,982

書き損じハガキ等の収集

2021年度にご寄付いただいた収集物の換金・相当額は70万円を超えました。

収集物の相当額・換金額集計 (単位 : 円)	
書き損じ及び未使用ハガキ	199,883
未使用切手	226,773
外貨コイン・使用済み切手	126,000
未使用テレホンカード	206,400
合計	759,056



(単位 : 円)　過去 5 年間 収集物相当額・換金額

会員数

会員数は下記の通り、終身維持会員、友の会会員、法人会員を含めて994人となりました。継続したご支援、新たな方からのご支援をいただけるよう、様々な媒体、方法を駆使して広報活動を展開していきます。

	新規会員数（実績）	2021年度末現在の会員数	昨年度から増減
終身維持会員	6人	215人	＋3人
ＰＨＤ会員	8人	523人	－21人
友の会会員	4人	239人	－18人
法人会員	1団体	5団体	＋1団体
マンスリーサポーター	12人	12人	＋12人
合　計	30人	994人	－23人

法人会員の団体様

国際ソロプチミスト神戸 様

高砂ロータリークラブ 様

公益財団法人 神戸ＹＭＣＡ 様

生活協同組合コープこうべ 様

他１団体（匿名希望）

第22期国内研修生

国内における人材育成を目的として、2021年度は国内研修生を5名受け入れました。

成田 航輝さん
（25歳 / 社会人）

活動期間 ：2021年4月1日 ～ 2022年3月31日
活動内容 : アウトリーチ活動、外国人当事者への相談対応、日本語学習指導、助成金事業の管理・報告、研修同行（サッカー指導、動画編集）

松浦 あおいさん
（23歳 / 社会人）

活動期間 ：2021年5月5日 ～ 2022年3月31日
活動内容 : 外国人当事者への相談対応、日本語学習指導、助成金事業の管理･報告、研修同行（製菓）、就労支援、製菓研修指導、イベント企画運営、他団体でのインターン活動

合田 ひなさん
（21歳 / 大学生）

活動期間 ：2021年4月1日 ～ 2021年3月31日
活動内容 : イベント企画運営

田村 華奈さん
（20歳 / 大学生）

活動期間 ：2021年4月1日 ～ 2021年2月28日
活動内容 : イベント企画運営、ブックレット作成

佐藤 里紗さん
（22歳 / 大学生）

活動期間 ：2021年4月1日 ～ 2021年3月31日
活動内容 : 外国人当事者への相談対応、イベント企画運営

ボランティアとの協働

ＰＨＤの活動に、1年を通して28名の方々がボランティアとして関わって下さいました。コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年度に引き続き、複数人やグループでのボランティア受入れは休止しました。個人でお越しの方々に、事務作業（切手・住所シール貼り、書類ＰＤＦ化など）、会報発送準備などをお手伝いいただきました。

ボランティア参加者数（単位：人）	
事務作業補助・収集物整理等	21
会報発送作業	2
翻訳	2
通訳	3
合計	28

2021年度 外務省委嘱ＮＧＯ相談員

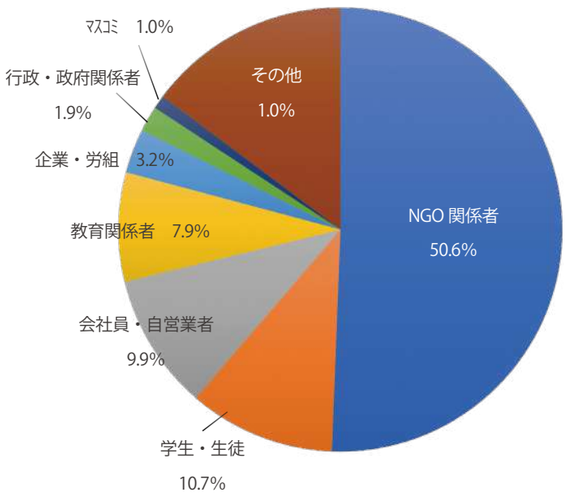
ＮＧＯ相談員は、国際協力分野で経験と実績をもつ日本のＮＧＯが外務省の委嘱により「相談員」となり、国際協力活動、ＮＧＯの設立、組織の管理・運営など市民やＮＧＯ関係者からの質問・照会に応える事業です。同事業を受託し、652件の相談対応を実施しました。また国際協力への理解促進のための出張サービスとして、20件の講演を行いました。相談対応及び出張サービスの実績内訳は以下の通りです。

相談件数内訳

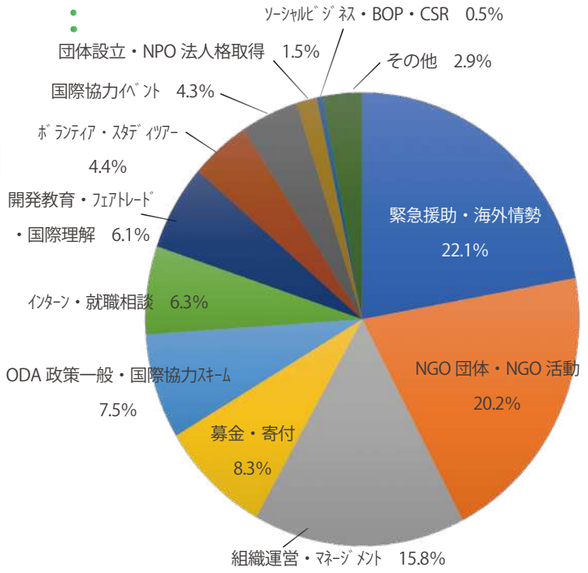
NGO 関係者	408
学生・生徒	86
会社員・自営業者	80
教育関係者	64
行政・政府関係者	15
企業・労組	26
マスコミ	8
その他	119
合計	806(件)

NGO 団体・NGO の活動	132
組織運営・ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ	103
緊急援助・海外情勢	144
ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・ｽﾀﾃﾞｨｰﾂｱｰ	29
ｲﾝﾀｰﾝ・就職相談	41
募金・寄付	54
開発教育・ﾌｪｱﾄﾚｰﾄﾞ・国際理解	40
ODA 政策一般・国際協力ｽｷｰﾑ	49
国際協力ｲﾍﾞﾝﾄ	28
団体設立・NPO 法人格取得	10
ｿｰｼｬﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ・BOP・CSR	3
その他	19
合計	652(件)

相談者属性別



内容別



出張サービス　形式別	
形式	件数
対面	兵庫県：10　奈良県：1
オンライン	9
合計	20

出張サービス　種類別	
出張の種類	件数
NPO 等主催の講演	8
高校の講演	5
大学・大学院の講演	4
その他の講演 （JICA 関西主催・フリースクール）	2
イベントでのブース出展	1
合計	20

出張サービス　参加者人数
計 693 人

Facebook リーチ数
計 1,532,966 リーチ

フリースクールにて、ミャンマー人留学生とともに講演

他団体との協働

他の国際協力・交流団体等との共催行事の実施、運営参加を通して、協働および情報交換を行いました。また、イベント等にも参加し、ＰＨＤの活動を幅広く紹介しました。

＜共催・参加イベントなど＞

Ｓｏｃｉａｌｓｈｉｐ、ＨＹＯＧＯＮ運営委員会／総会／交流会、コープ兵庫買物会、2021学年度米山奨学生オリエンテーション、多文化共生のための国際理解・開発教育セミナー／運営委員会、世界難民の日実行委員会、ミャンマー民主化実行委員会、多文化共生のための国際理解・開発教育講座、ＨＹＯＭＩＣ幹事会／会議、Ｏｎｅ Ｗｏｒｌｄ Ｆｅｓｔｉｖａｌ ｆｏｒ Ｙｏｕｔｈ、神戸ＹＭＣＡ総会、大阪ＹＭＣＡ総研ミーティング、ＪＰ－ＭＩＲＡＩポータル説明会、2021年兵庫県知事選挙・立候補予定者公開討論会、ＪＩＣＡ多文化共生協議、ミャンマーデモ世話人会、ミャンマーデモ、ＮＧＯ等提案型ＰＣＭプログラム、「ながたのこもりうた」プロジェクト、神戸外国人救援ネット法人委員会、大阪ＹＭＣＡ　Ｙｌａｂ、相思社オンライン交流会、鶴甲ウィメンズハウス協議／運営委員会、神戸キリスト教青年会所管委員会・常議員会合同委員会、ひょうごコロナ支え合い基金、公益法人ＮＧＯ連絡会、ＮＧＯ・外務省定期協議会連携推進委員会、ＮＧＯデータブックインタビュー、ＮＧＯ相談員会議、外国人を対象とした居住支援活動事業研修会、西脇市移動相談会、神戸外国人救援ネット設立総会、関西ＮＧＯ相談員の集い、ＪＩＣＡ草の根技術協力事業・ＮＧＯ等提案型プログラム実施団体会議、ＮＧＯ相談員2022年度説明会、関西学院高等部「平和構築の方法」ポスタープレゼンテーション、2023学年度米山記念奨学金説明会、三田市社会福祉×多文化共生セミナー、関学ＷＷＬ運営指導委員会並びに検証委員会、国際ロータリー2680地区大会、米山奨学会歓送会、ＪＩＣＡ草の根技術協力事業協議、コープこうべ・エコファーム収穫会、神戸市シルバーカレッジジョイラックデイ

三田市　社会福祉×多文化共生　連携セミナー

＜運営＞

大阪ＹＭＣＡ	評議員
関西学院大学高等部ＷＷＬ事業	運営指導員
コープともしびボランティア振興財団理事会	理事
神戸ＮＧＯ協議会	運営委員
神戸市地球市民会議	委員
神戸ＹＭＣＡ　国際委員会	委員
多文化共生のための国際理解教育・開発セミナー	運営委員
ひょうご市民活動協議会（ＨＹＯＧＯＮ）	副代表
兵庫・国際協力同志の会（ＨＹＯＭＩＣ）	幹事
兵庫ユニセフ協会	評議員
ワンワールドフェスティバルＦｏｒＹｏｕｔｈ	監事
ＮＧＯ神戸外国人救援ネット	運営委員
ＪＡＮＩＣ　ＮＧＯ経営者ワーキンググループ	メンバー

神戸・長田のちいさな子守唄（企画・発行：NPO 法人 DANCE BOX、国際交流基金アジアセンター）ミャンマー人留学生と協力

外国人のための無料相談会で相談にあたる
（西脇市 / 主催：NGO 神戸外国人救援ネット）

メディア活動

ＰＨＤの活動について幅広く情報発信し、メディアの特性に合わせた広報・啓発活動を展開しました。

SNS：Facebook、Instagram、Twitter、Youtube
新聞：神戸新聞（9回）、朝日新聞、本願寺新報
他団体会報等：神戸YMCA News、コープこうべvol.33 総代通信、福祉のひろば、Governor's Monthly Letter、神戸外国人救援ネットニュースNo.68
他団体HP・メールニュース等：JANIC、JICA Partner、関西NGO協議会、IDJ国際協力ジャーナル、日本財団Canpan、NGOネットワークジャパン、ボランティアプラットフォーム、赤い羽根ひょうご、多文化共生と国際協力の出会い（ブックレット）、報道ランナー（関西テレビ・2022/3/11）　＜敬称略＞

SNSフォロワー数（単位：アカウント）	2022年3月31日現在
Facebook （いいね）	2,375
Instagram （フォロワー）	1,008
Twitter （フォロワー）	475
Youtube（チャンネル登録者）	51

2021 年 8 月 1 日発行 神戸 YMCA

2021 年 8 月 vol.33 総代通信

2021 年 9 月 福祉のひろば

2022 年 2 月 Governor's Monthly Letter

2021/4/28　神戸新聞

2021/5/24　朝日新聞

2021/6/26　神戸新聞

2021/7/1　本願寺新報

2021/11/9　神戸新聞

2022/3/10　神戸新聞

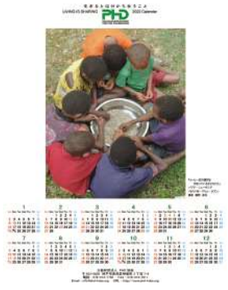
2022 年 2 月 福祉のひろば

広報物

会報 147 号

会報 148 号

会報 149 号



カレンダー

研修生紹介チラシ

国際協力・交流シェアハウス
「みんなのいえ」紹介動画
この動画は、赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン 居場所を失った人への緊急活動応援助成金により作成しました。

PHD Annual Report 2021

組織運営

2021年度決算

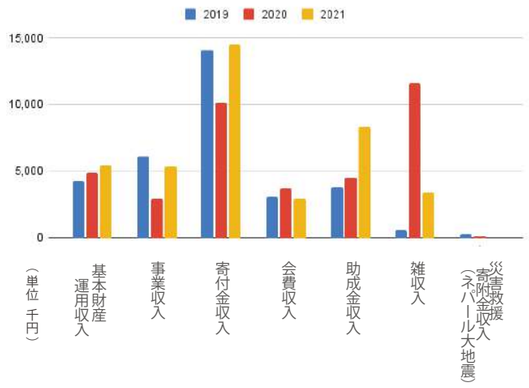
正味財産増減計算書

自2021年4月1日・至2022年3月31日　（単位：円）			
経常収入		経常支出	
科目	決算額	科目	決算額
基本財産運用収入	5,430,800	研修事業費	9,107,089
特定資産運用収入	402,896	啓発事業費	25,302,173
事業収入	5,368,450	管理費	6,168,103
寄附収入	14,544,130		
会費収入	2,946,000		
助成金・補助金収入	8,303,432		
受取利息・配当金	209		
災害救援寄附金収入	0		
雑収入	3,435,671		
経常収益計	40,431,588	経常費用計	40,577,365

貸借対照表　2022年3月31日現在（単位：円）

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	14,612,000	流動負債	1,050,827
固定資産	346,977,227	固定負債	4,174,785
（うち基本財産として 271,531,464）		正味財産	356,363,615
資産合計	361,589,227	負債及び正味財産合計	361,589,227

過去３年間収入比較



役員（2022.6.～）

理事会

理事長	水野　雄二	(社福) 神戸聖隷福祉事業団 理事長
理　事	植松　賢治	神戸市東灘区役所 区長
理　事	尾上　尚司	(公財) ひょうご子どもと家庭福祉財団 常務理事
理　事	門野　隆弘	(株) 神戸新聞社 非常勤取締役/サンテレビジョン　顧問
理　事	滝澤　功治	神戸海都法律事務所　弁護士
理　事	丸尾　研一	(株) エムエスケイ 代表取締役
理　事	安平　和彦	はりま法律事務所　弁護士
理　事	小林　拓哉	兵庫県産業労働部　次長兼国際局長
監　事	飯田　健一	飯田会計事務所　公認会計士／税理士
監　事	徳山　雅治	生活協同組合コープこうべ　コープデイズ豊岡　店長

顧問

顧　問	橋本　一豊	(株) 神戸マツダ　代表取締役会長

評議員会

井上　真二	(公財) 神戸ＹＭＣＡ　総主事
岩坂　二規	関西学院大学大学院 教育学研究科　准教授
寒者　恵	三木市元職員　保健師／保健衛生指導者
寺田　正文	てらだ農園
中尾　秀一	(公財) アジア福祉教育財団難民事業本部関西支部　支部長代行
納堂　邦弘	ミカタスイッチ(株) 代表取締役／元ＰＨＤ協会職員
榛木　恵子	(社福) 聖和共働福祉会　理事長
秦　紳一郎	国際ロータリー第2680地区　米山記念奨学委員長
宮田　泰子	(公財) 神戸ＹＷＣＡ　理事

運営協力委員

青島　一路	兵庫県連合自治会　事務局長
伊勢田　佳博	(一社) 兵庫県信用組合協会　常務理事兼事務局長
ﾍﾗ ﾌﾛｲﾝﾄﾞ ﾘｰﾌﾟ上原	国際ソロプチミスト神戸　会長
大家　重明	兵庫県青年洋上大学同窓会　会長
大西　巧	(一社) 兵庫県信用金庫協会　常務理事
川本　竜司	ＪＯＣＶ近畿地区兵庫県ＯＢ会　理事
神吉　泰彦	高砂にＰＨＤ研修生を迎える会
喜多野　章夫	喜多野診療所　院長
北村　悦伸	(社福) 兵庫県社会福祉協議会　事務局長
後藤　象三	(一社) 兵庫県医師会　事務局長
塩谷　元宏	兵庫県森林組合連合会　専務理事
進藤　昇	(一社) 兵庫県私学総連合会　事務局長
高藤　真理	元大学職員　歯科衛生士/歯科衛生指導者
高松　智美	(一社) 兵庫県歯科医師会　総務部 総務企画課　課長
多田　泰之	兵庫県中学校長会　会長
檀特　竜王	神戸市市長室国際部　部長
突々　淳	兵庫県漁業協同組合連合会　専務理事
友藤　富士子	兵庫県連合婦人会　会長
小山　優	(株) 神戸新聞社　報道部長
猶原　信男	ミャンマー関西　代表
仁井　重雄	兵庫県町村会　事務局長
西村　早百合	ＧroupＴaytay
平岡　靖敏	神戸商工会議所　理事／産業部長
南　喜樹	(一社) 神戸銀行協会　専務理事
明星　頼子	(一社) ガールスカウト兵庫県連盟　書記
本山　秀治	(公財) 兵庫県老人クラブ連合会　専務理事兼事務局長
森口　育子	兵庫県立大学　名誉教授
森本　成己	兵庫県立学校長協会　会長
濱崎　加代子	神戸キワニスクラブ　福祉広報委員長
山崎　美和子	(一社) 兵庫県薬剤師会　事務局長
亘　進司	兵庫県小学校長会　会長

助成金・受託事業

2021年度「ＮＧＯインターン・プログラム」

外務省主催、公益社団法人青年海外協力協会（ＪＯＣＡ）運営の「ＮＧＯインターン・プログラム」の受け入れ団体（2020年度より継続）に選定されました。本プログラムは、若手人材の育成を通じてＮＧＯによる国際協力を拡充するための制度です。

2021年度「ＮＧＯ相談員制度」

外務省の委嘱を受け「ＮＧＯ相談員」として、国際協力活動やＮＧＯに関する市民やＮＧＯ関係者からの質問・照会に対応しました。また、国際協力への理解の促進のため、市民団体や教育機関と連携し、対面及びオンラインにて講演を実施しました。

詳細はP.9「2021年度外務省委嘱ＮＧＯ相談員」をご参照ください。

2021年度「愛のカンパ　中央助成」日本労働組合総連合会

人道主義の立場から「自由、暴動、公正で平和な世界の実現」のため、ＮＧＯなどの事業の支援を目的としている本助成より、ＳＤＧｓ達成のための国内研修生2.0研修事業とシェアハウスを通じた困窮外国人支援事業へのご支援をいただきました。

中央共同募金会「第2回 居場所を失った人への緊急活動応援助成」

赤い羽根新型コロナ感染下の福祉活動全国キャンペーンとして公募された本助成を受け、コロナ禍で困窮する外国人のための生活相談窓口の設置及び居住支援活動を実施しました。

中央共同募金会「第3回フードバンク活動等応援助成」

赤い羽根新型コロナ感染下の福祉活動全国キャンペーンとして公募された本助成を受け、困窮外国人のための食料支援を実施しました。本助成金では特に遠方に住み、支援が行き届きにくい方々に郵送で食料を届けることができました。

兵庫共同募金会「いのちをつなぐ支援活動応援事業」

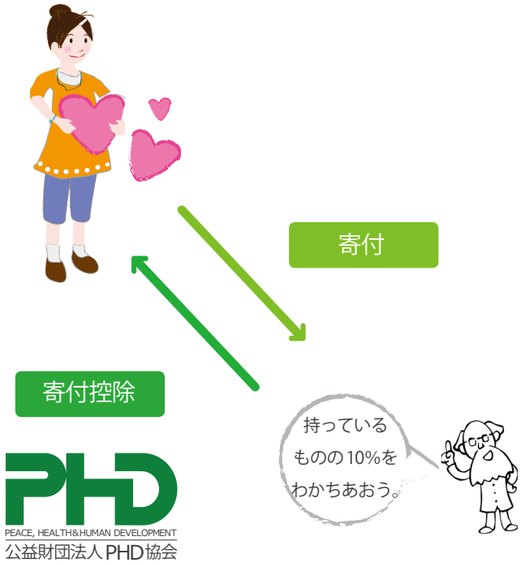
赤い羽根新型コロナ感染下の福祉活動全国キャンペーンとして公募された本助成を受け、困窮外国人のための居住支援事業を実施しました。

神戸まちづくり六甲アイランド基金

本基金の助成を受け、困窮外国人のための居住支援及び食料支援を実施しました。

受賞歴

1981	第１回ロータリー国際理解と平和賞受賞（岩村　昇）
1982	神戸新聞平和賞
1982	兵庫県社会賞
1988	国際交流基金、地域交流振興賞
1990	神戸国際交流賞
1991	毎日国際交流賞
1993	マグサイサイ賞受賞（岩村　昇）
1995	第４回環境水俣賞受賞
1996	外務大臣賞受賞
1997	兵庫県功労者表彰（今井　鎮雄）
2001	神戸新聞社社会賞
2011	井植文化賞
2013	かめのり賞
2014	神戸キワニスクラブ社会貢献賞
2022	第５回はなやか KANSAI 魅力アップアワード社会的効果部門特別賞



PEACE, HEALTH&HUMAN DEVELOPMENT
公益財団法人PHD協会

PHD へのご寄附及び会費は、免税・減税の対象となります

ＰＨＤへのご寄附及び会費は、税額控除もしくは所得控除の適用を受けることができます。

＜例えば20,000円の寄附をして、確定申告をすると＞

◆税額控除の場合

(20,000円－2,000円)×40%＝7,200円[*1]が還付されます。

[*1] 所得税額の25%に相当する金額を限度とします。

◆所得控除の場合

20,000円[*2]－2000円＝18,000円が所得金額から引かれます。

[*2] 所得金額の40%を限度とします。

詳しくは国税庁のホームページをご覧下さい。

PHD 会員制度のご案内

ＰＨＤ運動は会員の皆様によって支えられ、すすめられています。継続したご支援をよろしくお願いいたします。

ＰＨＤ終身維持会員	１口	10万円（任意の口数）
ＰＨＤ会員	年額１口	5千円（任意の口数）
ＰＨＤ友の会会員	年額	千円以上（任意の額）
ＰＨＤ法人会員	年額１口	2万円、3万円、5万円、10万円（上記金額より任意の口数）

会員の皆さまには、会報「ＰＨＤＬＥＴＴＥＲ」、事業報告書をお届けします。

会費のお振込みはこちらにお願いいたします。

口座名：公益財団法人ＰＨＤ協会
◆ゆうちょ銀行　口座番号：01110-6-29688
◆三井住友銀行　神戸営業部（500）普通口座：3210568
◆楽天銀行　第四営業支店（254）普通口座：7022842

事務局・スタッフ（2022.4.～）

事務局

坂西 卓郎
事務局長

中村 朱里
総務・ファンドレイジング担当

芳田 弓生希
研修担当

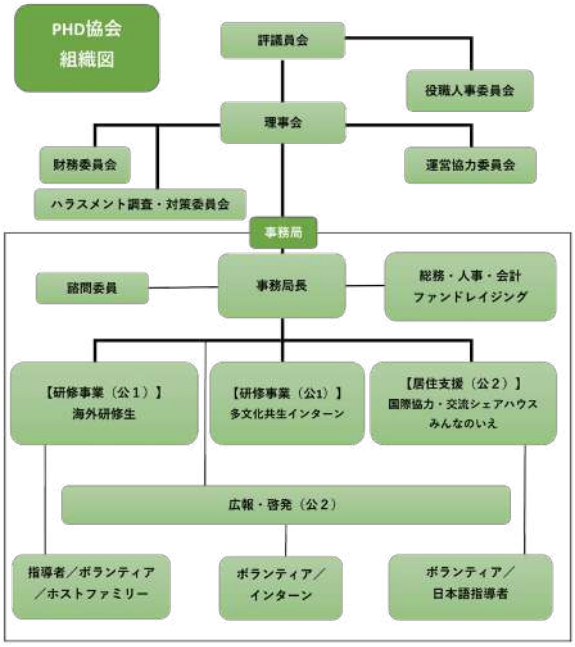
三宅 茉依
総務・ファンドレイジング副担当

佐久間 隆
居住支援・研修担当

古寺 瑞代
財務担当

中島 麻
広報・啓発担当

濱 宏子
人事・米山奨学生担当
国際協力・交流シェアハウス「みんなのいえ」施設長



ミャンマー現地スタッフ

モーママ
2013年度第31期生

サンティダエー
2015年度第33期生

ティダチョー（マーチョ）
2016年度第34期生

ネパール現地スタッフ

ランマヤ・タマン
2012年度第30期生

ムク・マヤ・タマン
2014年度第32期生

インドネシア現地スタッフ

ダスウィル
1999年度第17期生

アルウィ ファドリ
2001年度第19期生

ダルミアティス（ミミ）
2002年度第20期生

アフリタ
2004年度第22期生

マスラル アリゾン
2005年度第23期生

ダリスマン
2013年度第31期生

PEACE, HEALTH&HUMAN DEVELOPMENT
公益財団法人PHD協会

〒653-0836
神戸市長田区神楽町3丁目7-4
TEL078-414-7750
FAX078-414-7611

PHD 2021 40th Anniversary

2022.7.1700